

令和7年10月21日
財務省 近畿財務局 理財部主計第2課/大津財務事務所
KINZAI NEWS vol.152

令和7年8月22日 開催

財務局キャラバンin大津



▶財務局キャラバンとは？

我が国の財政の現状などを広く国民の皆様に理解していただくことを目的に、財務省の主計局幹部が全国各地へ出向き、財政講演等を実施するもの。

平成24年度から実施しており、今回で13回目の開催。

▶今回は**70名**の参加がありました

- ・企業・金融機関等 25人
- ・大学・学生 7人
- ・地方公共団体 38人

県内19市町のうち
17市町が参加

湯下政策立案総括審議官からは米国の関税措置の状況について、馬場主計官からは日本の財政について、予算・税制に関する豊富な経験と国際的知見を踏まえてご講演いただきました。

冒頭挨拶 近畿財務局大津財務事務所長 日野 幸男



「米国の関税措置に関する日米協議について」

財務省大臣官房
政策立案総括審議官
湯下 敦史

- ▶ 日米協議の状況及び令和7年8月1日以降の相互関税の見直しについて丁寧に説明。
- ▶ 米国関税の影響を受ける企業への支援と国民の暮らしを支えるための**緊急対応策**についてパンフレットを用いて紹介。
- ▶ 今後も、**米国関税措置に関する政府の取組や対応をわかりやすく説明していく姿勢を表明。**



「我が国の財政について」

財務省主計局
主計官（防衛係担当）
馬場 啓明

- ▶ 財政悪化の現状と、その構造的要因である**少子高齢化の急激な進行**について、国際比較データも用いながら解説。
- ▶ 人口減少下における経済財政政策の方向性や、**財政健全化の必要性とその取組**について説明。
- ▶ **令和7年度予算の重点ポイント**を説明。

質疑応答にて…

予算案作成の苦労話や大切にしている視点は？

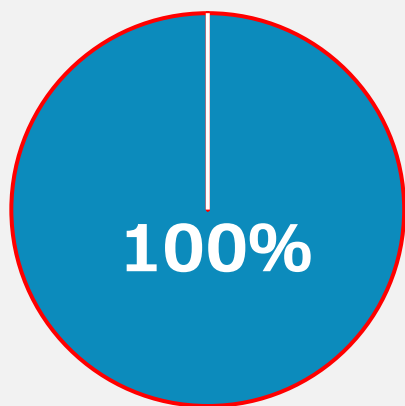
- ・ 限られた財源の最適配分を考える上では、物価高騰や社会情勢等の**国民の声**を踏まえた議論も大切である
- ・ 財政の専門家として財務省が作成した政府案が国会審議を通し、より多角的な視点から議論されることには大きな意義がある
- ・ 時に議論が長期化する場合もあるが、しっかりと受け止め対応していきたい

と回答。

アンケート

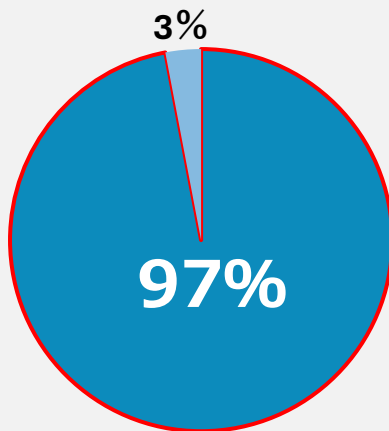
※会場参加者68名のうちアンケート回答67名分を集計

①講演内容について



■ 有意義であった
■ 有意義でなかった

②来年度以降の講演について



■ 参加したい
■ 参加したくない

参加者からの声



大変分かりやすくご説明いただき、有難かったです。聞く方も知識を向上させて、次回も出席したい。



良い未来のためのフューチャー・デザインの実現に向けて財務省が主導して国をリードしていてもらいたい。



財務省が地方予算についてどのようなことを考えているのか、何を優先して予算査定をしているのかなど、我々にとって身近なことも聞きたい。

まとめ

上記の通り「**有意義であった**」「**次も参加したい**」と**高評価**をいただきました。もっと深掘した話も聞いてみたい、地方の財政に関する財務省の考えを聞きたいとの声もあり、財政政策や地方への影響に関する意識の高さを感じる結果となりました。

日本の財政や国の施策について説明し、対話する機会の重要性を改めて実感しました。近畿財務局及び大津財務事務所は今後も国民の皆様にとって有益となる情報の発信に取り組んでまいります。